

磐城時報 (Publication details including address, price, and subscription information)

雨天に崇られた 空前絶後の盛賑

江名漁港竣工祝賀式

江名漁港竣工祝賀式は九月九日午前十時から江名町鮮魚共同販賣所で行われた。定刻河野町長、本所長、各員、式辭を朗讀し、工事監督者落合技師の工事報告あり。次いで、故江名町長中山元治、現江名漁業組合長中田政吉、工事監督者落合忠藏、工事請負者江口忠一、各功勞者に江名町から金盃一組宛を贈呈して表彰し、尚ほ漁業組合よりは落合氏に對し二百圓、江口氏に對し五百圓を添えて感謝状を贈呈し、工事現場監督者長谷川常吉氏には金時計を贈り、終つて來賓の祝辭があつて閉式終了である。江名漁港は大正十一年六月一日起工同十四年三月第一期工事を終え十四年六月五日第二期工事を着手し昭和二年四月十日竣工したもので、工費は第一期工事十八萬四千圓、第二期工事三〇、〇〇〇圓、漁業組合の接待をなしたが、一方陸上に不完全極まる爲めに今回の如き大賑を演じ町民をして非常なる脅威を興へたるものござれる。而も平町は海岸が近しく鮮魚の移出入が激しい爲め自然下水道は悪化するが今回の如き状態を呈した有様であるから、町の有力者間には早くも下水道工事の急務なるを力説するに至つた。目下問題となつて居る町役場の新築よりは一先この方面の實現が急を要する如くである。

模擬鯨釣りなど 協賛會の催はし

江名町では築港竣工祝賀式當日は演舞場を設け美技の踊、そのほか各種の催はしあり全町は終日花燈籠等で裝飾され終日非常な盛況を呈した。平の下水道問題となる。瀧を極めた平町の腸チブスは、漸く終熄期に入り毎日一名位づつの全快退院者を見つゝあるが、下水道の完備せる地に於て今回衛生課にて防疫官を派遣し細菌検査所員並に平署等と協力し、これが撲滅の原因との調査を行つたが結局は平町は下水道が最近非常に硬化し、一石三圓内

平町の傳染病院 改築に決定す

平町の傳染病院は明治三十年代外を唱へられて尙ほ目先一段の建設したものでその當時の平町を現すに至るであらうと見られるが、その原因は昨年中も現在の平町としては狹隘の觀あり、刺々腐朽したので既に改築の要を叫ばれて来たが、たゞこれに反して不景氣のため必要が增加した結果によるものであらう。

湯本町の破藏犯は 四名の共謀

湯本町の破藏犯は、四名の共謀。昨夜藤原で捕はる。去る四月八日夜湯本町質屋江尻園を窃取した犯人と同一所爲と見られる。藤原町警察署刑事係は總掛りで捜索中であつたが手掛り更になく、四月四日夜藤原町計商福島由藏より忍び入り金時計、クナリ其測量器機價格五百圓の盗難事件あり、平署から青田、柴崎各刑事等出張し取調べた結果現場に手袋一ヶ遺留しあつたのでそれを手にして捜索の歩を進めた。測量器の窃取犯人は、磐城村大字下藤原池池製造業伊達郡大綱村字一貫生れ安田兼松(二八)と判明。同家の家宅捜索を行った結果、江尻園から奪取した衣類が竈の中へ蔵々と現はれ同家に出入す。

修學旅行雜信

修學旅行雜信。磐城高等女學校。第三學年修學旅行隊。五月六日(その一)。旅行第二日目の朝は清々しく明けかつた。柔らかな朝風を受け、窓邊に添つて眺めると、ほんのりとした陽光が、鏡のやうな湖面をなぞり、渡るのちのちと語る。赤塗の膳で食事をすませると中庵寺に向つた。湖水をめぐると山々には早や春も消えやうとする頃なのに雪が面白く形とてあつた。

磐城青年同盟會 機關紙發行

磐城青年同盟會。機關紙發行。石城郡に於て官許青年團を除いては唯一の青年團體である磐城青年同盟會では、總會を開き役員改選を行ひ面目を一新し時事問題の研究、青年思想の善導等を盡す事になつた。更に同會員相互の連絡を圖り會員の思想向上を促すべく、機關紙發行を六日頃から發行する事決定種準備を急いでゐる由である。堅實味を増し更に會員も増加して来たので同會の將來は非常に活動的を囑望されてゐる。

石城地方 麥値あがる

石城地方の麥價は漸次低落の一方であるが、拘らず麥の商狀は最近非常に硬化し、一石三圓内

平町の徴兵検査成績

七日終了した平町壯丁検査は本籍百五名、寄留者四十五名にてその内訳は本籍甲種二十名、第一乙種十名、第二乙種四十七名、丙種十九名、丁種九名。寄留者甲種七名、第一乙種八名、第二乙種十六名、丙種十名、丁種四名にて甲種及び第一乙種の合格氏名は左の通りで本籍寄留の甲種第一乙種合格者本籍、寄留共に三分に當り成績は案外良好であつた。

- ▲甲種 關内甚平、會川一郎、肥田川雄一、大沼忠衛、近納信義、島海久助、白土謙次郎、酒井篤之助、酒井忠二、船山太一、橋二郎、小野一、高田清二、菊地圓次郎、林一郎、古川勇、若松武、松木二郎、田巻重三、飯塚春雄
- ▲第一乙種 端山孝、吉村與一、渡邊敬造、星野泰次、竹中武志、保田公雄、阿部榮造、小林與市、箱崎彌一、鈴木義雄 (以上本籍)
- ▲甲種 久松潤男、阿部健、小柳勇、岡部廣、齋藤和助、北條新一、鈴木武男 (以上寄留者)
- ▲乙種 吉田義一、佐藤義家、林讓、井口健次郎、古内幸男、横田一郎、瀧田七郎、渡邊淺一郎 (以上寄留者)

前區長首を縊る

夏井村大字下大越前區長某(五三)は八日正午頃家出し裏山で縊死してゐるのを午後五時頃発見届け出た。平署から齋藤部長出張検査したが同家は村中流以上の資産家であるが...

近精神に異状を呈したものでらしい。

映畫界

▲夢の王国
太郎は正義に生きる人であつた。所定の修養の旅に出た太郎は或る時の茶屋で日の

大蔵大臣許 大免 大許 大免
會商盡無城警 大許 大免
【番九六七平・番一話電】
もで時何りよ所扱取に處る到内縣
すまり募を員會すね絶い下込申

暮れる時に此山を越える人は一人も無事な者がなると聞き諸人の難儀を取り去るべく日暮れ時に山に行つた。先づ大きな泥棒を改心させ、大鳥に乗つて海や山を越えある國に着きました。此國の人々は食人種であつたが太郎の正義は彼等を征服して酋長となつた

驚いた!!!

又々太郎は大鳥に乗つて外國に行つた。王様は神の怒に於いて土中に落ちてゐる姫を助け出した者には領土の半分を而して姫を興へると云ふたふれ出し、あつた。そこで太郎はいろ／＼の苦しみをしてつひに姫を助け出し領土の半分と姫を王から興へられたと云ふ長い夢を見た。(平館)

平町紺屋町
吉田眼科院
電話六八番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
電話一七〇番

高久病院
院長高久忠
平町電話一三五

藤沼醫院
内科、外科、淋病、梅毒科
平町紺屋町
電話五〇七番

赤心堂病院
産科婦人科部主任トシテ
醫學士野秋善直新任ス
平町電話四七五

牛豚肉特價

| | | |
|-----|----|------|
| 牛中肉 | 百匁 | 金三十三 |
| 牛上肉 | 同 | 金五十五 |
| 豚口肉 | 同 | 金七十七 |
| 豚上肉 | 同 | 金九十九 |
| 豚中肉 | 同 | 金七十五 |
| 豚口肉 | 同 | 金九十七 |
| 豚上肉 | 同 | 金五十五 |
| 豚中肉 | 同 | 金三十三 |

平町停車場前(平劇場入口)
康賣王 深谷牛肉店
電話五二四番

中風靈藥

定價(一週分)九〇〇
三週分二七〇〇
一週分三〇〇

青應山家傳
男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下、頭痛、言語難澀、半身不隨、其他中風より起る諸症に俾効を奏す。是非御試用を勸む。

代理店 平町五丁目 山野邊藥局

奇妙なきハリダスリ

不思議 膏 (二日分)

れうまろ骨の痛、肩のこり、齒痛、うちみ、神経痛、胃痛、痛氣、寸白、痔、すわりだこ、そまめ、ひょうそう、癩、よう、てう、やけど、靴ずれ、頭痛、乳のこり、のぼせ、瘡毒、いれき耳の痛、其他何處へはりて痛みを和げ、回らす事不可思議

平町四丁目(電話百四十四番)

特約店 小野屋藥舖

オピール錠

咳止の妙藥

醫學博士 丹波敏三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗

特約店 平町一丁目(電話四六二番) 大平屋藥店

江戸前 魚御料理

うなぎ 蒲焼 うなぎ井

◎出前は迅速に配達致します

平町南町 魚榮
電話四二四番

女ゲーム取り

十五名募集

委細面談

平町十五丁目
ススラン撞球場

磐城炭礦ノ炭礦

常磐第一ノ磐城炭礦ノ炭礦

大ナル炭礦

◎石炭とコークスの特長

石炭ハ正十貫目一俵金六十五錢也

平町前 阿部石炭商店
電話三三七番

◎徒弟入用

草野染工場
磐城平町
電話三四八番